

天使ミカエル

ダニエル書 12 : 1

ヨハネの黙示録 12 : 7 - 9



司祭 ヨハネ 井田 泉

2014年9月28日

聖霊降臨後第16主日

西大和聖ペテロ教会にて

明日9月29日は、「聖ミカエルおよび諸天使の日」です。それで今日は、天使ミカエルのお話をしたいと思います。

聖書に天使が出て来ます。その中で固有名詞を持つ天使というと、まずクリスマス物語に登場するガブリエルです。乙女マリアに「あなたは神の子を生む」と告知したのは、天使ガブリエルでした。ガブリエルのほかに、もうひとり固有名詞を持つ天使が新約聖書の中に登場します。ミカエルです。マイケル、ミッチェル、ミシェル、ミヘル……は同じミカエルのことです。

「エル」は「神」の意味、「ミカ」は「だれがそのような？」という意味だそうで、「ミカエル」とは「だれが神のようであろうか?」、つまり、「神と並ぶ者はだれもない」というのが、その名まえの意味だそうです。神と出会った人たち、神さまを経験した人たちの驚きと恐れと喜びが、この名前にはこめられているようです。

ガブリエルが神からの知らせをもたらす天使であるのに対して、ミカエルは、戦う天使、悪と戦う大天使です。旧約聖書の中にダニエル書という預言書があります。ダニエル書の中に書かれていることですが、ある天使が預言者ダニエルを助けてくれました。ダニエルを助けた天使はこう言います。

「しかし、真理の書に記されていることをお前に教えよう。お前たちの天使長ミカエルのほかに、これらに対してわたしを助ける者はないのだ。彼はわたしを支え、カづけてくれる。」ダニ

エル 10 : 21 - 11 : 1

天使を支え、助ける大天使——それがミカエルです。そのミカエルは「**お前たちの天使長**」だと言われています。人間の、神の民のための天使長なのです。

ダニエル書の終わりのほうに、もう一度ミカエルのことが記されています。

「その時、大天使長ミカエルが立つ。彼はお前の民の子らを守護する。その時まで苦難が続く。国が始まって以来なかったほどの苦難が。

しかし、その時には救われるであろう、お前の民、あの書に記された人々は。」 12:1

このようにミカエルは、きびしい苦難の中にある神の民、信仰者の群れのために立ち上がって戦い、人々を救いに至らせる存在です。

そのミカエルは、今度は新約聖書の最後のほうにもう一度現れます。聖書の最後の文書、ヨハネの黙示録です。

「さて、天で戦いが起こった。ミカエルとその使いたちが、竜に戦いを挑んだのである。」 黙示録 12 : 7

ここでいう竜とは悪魔、サタン、悪の勢力の代表のことです。

ミカエルは天使たちを率いて悪魔と戦う強力な天使として登場します。この場面は、地上ではなく天上の出来事として描かれています。

その場面はどのような場面なのでしょう。

一人の女の人がおなかに赤ちゃんを身ごもっていました。陣痛が始まり、その女の人は痛みと苦しみのために叫び声を上げていました。そこに火のように赤い大きな竜が現れました。非常に強大な竜で、七つの頭と十本の角を持ち、その尾で天の星の三分の一を掃き寄せて、地上に投げ落としたというのです。

その竜は赤ちゃんを産もうとしているその女の人の前に立ちはだかりました。産んだらその赤ちゃんを食べてしまおうとしています。新しい命を飲み込むこと、滅ぼすことが竜の目的です。

女は男の子を産みました。その子は、すべての国民を治めることになっていました。竜がその男の子に襲いかかりましたが、その子は神のもとへ引き上げられました。竜は今度は女の人を襲おうとします。彼女は荒れ野に逃げ込みました。竜に追われて命の危機に瀕しています。

そのとき、天使ミカエルが立ち上がりました。この人の命を守らなくてはならない。ミカエルのうちには神の意志が宿っています。人の命を愛される神の情熱が、ミカエルのうちに燃え上がっているのです。

「さて、天で戦いが起こった。ミカエルとその使いたちが、竜に戦いを挑んだのである。竜とその使いたちも応戦したが、勝

てなかった。そして、もはや天には彼らの居場所がなくなった。この巨大な竜、年を経た蛇、悪魔とかサタンとか呼ばれるもの、全人類を惑わす者は、投げ落とされた。地上に投げ落とされたのである。その使いたちも、もろともに投げ落とされた。」黙示録 12 : 7 - 9

ミカエルとは何者か。人の命を守るために立ち上がった天使。命を滅ぼす悪魔と戦った天使。そして悪魔に打ち勝ち、悪魔を天から投げ落とした大天使です。

あるとき、イエスさまは 72 人の弟子たちを宣教に派遣されました。72 人が働きをなし終えて帰ってきて、それぞれが経験したことを報告したとき、イエスさまはこう言われました。

「イエスは言われた。『わたしは、サタンが稲妻のように天から落ちるのを見ていた。蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を、わたしはあなたがたに授けた。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つない。』」ルカ 10:18-19

イエスさまは黙示録のあの場面、サタンが天から落ちるのを見ておられたのです。主イエスの願いと働きは、サタンの国を滅ぼして愛と平和の「神の国」を実現することでした。

天使ミカエルについて書かれた聖書からわたしたちは何を知るべきでしょうか。

第1に、すでに悪の力は天から突き落とされているということです。神の軍勢の代表であるミカエルは、戦って勝利した。ミカエルが勝利しただけではありません。ミカエルは言わば先発隊として、イエス・キリストに先立って戦いました。わたしたちの主イエス・キリストは、十字架に死んで、三日目によみがえって、死というサタンの根拠地を滅ぼしてしまわれました。わたしたちはミカエルによって支えられるとともに、わたしたちのために立ち上がり、わたしたちのために戦ってくださるイエス・キリストによって守られているのです。

第2に、わたしたちはイエスさまの弟子であるということです。あの72人ほどではないかもしれませんが、わたしたちも弟子としてイエスさまから力と使命を与えられています。悪の国、サタンの国の前に茫然自失するのではなく、神の国を広げ、前進させるために、わたしたちはイエスさまによって招かれ、力づけられています。そしてそのためにイエスさまの祈りをわたしたちの祈りとして与えられました。

「み国が来ますように」

この祈りによって、この祈りに支えられ導かれて、わたしたちもささやかではあっても、神の国を広げていくのです。

ミカエルは命を守るために立ち上がって戦う天使です。わたしたちの中に、皆さんの中に、ミカエルの精神が宿っていてほしい。

天使は男性とはかぎりません。ミカエルは男性形ですが、その女性形はミカエラです。

神が尊ばれる命を守り、支えることがわたしたちの使命です。わたしたちの中に、ミカエル、ミカエラが生きて働いていてくれますように。

神さま、命を守り命を生かそうとされるあなたの愛の中で、わたしたちの働きを祝福し、力づけ、支えてください。天使ミカエルの精神と力と情熱がわたしたちの内に宿り、わたしたちをとおしてそれが働くようにしてください。主イエス・キリストのみ名によってお願いいたします。アーメン